



早稲田大学 大学院情報生産システム研究科



世界に通じる独創的な最先端の研究。



先端

Meets

伝統

脈々と受け継がれる早稲田の伝統、建学精神。

グローバルリーダーを育成する「先端」と「伝統」が出会う大学院



大学院
情報生産システム研究科長

藤村 茂

早稲田大学大学院情報生産システム研究科(通称:IPS)は、創立者大隈重信の生誕の地九州に2003年に設立した大学院です。アジアを中心に世界各国から優秀な学生が集い最先端の技術を創出し社会貢献することを目指した大学院です。多くの留学生と日本人学生が、早稲田大学の三大教旨のもと「伝統」を守り、「先端」技術の研究に、国境の垣根なくお互いに刺激を与えつつ高い志を持って取り組んでいます。情報アーキテクチャ、生産システム、集積システム、そしてそれらが相互連携するエコシステムに関する高度な研究課題に取り組んでいます。

IPSでは、様々なバックグラウンドをもつ学生が集い、産学官が連携した環境のもと、高い目標を掲げ常にチャレンジ精神を持って取り組む素養を育みます。基礎学力を培い、自身で問題を考え、実社会の動向を肌で感じ、最先端の技術を実社会で具現化できる人材を育成します。自身で考え目標を達成するために自ら努力をしたという経験は、将来の人生において大変貴重な財産となります。

すでに3,000名を超える多くの優秀な学生がIPSを卒業し、自身で研究をやり遂げたという自負を持ち社会に飛び立っています。そして、現在、世界各国の産業界、教育機関、研究機関などで「グローバルリーダー」として活躍しています。今後、さらにIPSは飛躍をし、世界に発信できる先端技術の研究を促進し、世界で求められる人材を育成する教育・研究拠点として国内外で存在感を高めていきます。

大学院情報生産システム研究科における研究・技術開発人材の育成

IPSでは、現代ますます複雑化している社会課題に対して、広範な知識と高い洞察力によって問題解決することができる研究・技術開発人材の育成を目的としています。IPSでの教育・研究活動を通して、基礎知識と専門知識、情報リテラシーと問題発見力、論理的思考力と問題解決力、実践的リーダーシップと国際的コミュニケーション能力を身に着けることができます。また、IPSが存在する北九州市では自動車、ロボット、半導体、環境ビジネス等の新しい産業が広がりをみせており、実際に企業との共同研究や国家プロジェクトに参加し研究成果を応用することができ、研究・技術開発の醍醐味を味わうことができます。



研究科長挨拶	01
--------	----

早稲田大学 三大教旨	02
------------	----

IPSの国際性／IPSのプロジェクト	03
--------------------	----

就職／人材育成	04
---------	----

IPSの3分野	05
---------	----

情報アーキテクチャ分野 教員紹介	07
------------------	----

生産システム分野 教員紹介	08
---------------	----

集積システム分野 教員紹介	09
---------------	----

学生	10
----	----

カリキュラム・設置科目	11
-------------	----

入試情報	12
------	----

学費／奨学金制度	13
----------	----

キャンパスライフ・ 北九州学術研究都市	14
------------------------	----

早稲田大学 三大教旨

「Waseda Vision 150」では、早稲田大学教旨を以下のように読み解き、創立150周年に向けた教育と研究の体制整備の原点とします。

1. 学問の独立 ―世界へ貢献する礎―

あらゆる制約から解放され、本質を見据えた自由な批判精神が学問の独立の礎である。早稲田大学は、学生・教員の自律的かつ自由な相互作用の中で人文科学、社会科学、自然科学あるいはそれらの融合領域の討究を行い、その成果を世界に発信して学問の創造と発展に貢献する。

2. 学問の活用 ―世界へ貢献する道―

学問研究は、学理の考究に留まらず、文化、社会、産業への活用の道を拓くことによってさらに発展する。早稲田大学は、学部・大学院での教育・研究に加えて専門職業人教育および生涯教育に取り組み、学理考究とそれに裏付けられた実践との相互作用を通して新しい時代を切り拓く。

3. 模範国民の造就 ―世界へ貢献する人―

送り出す学生こそ大学教育の最大の成果である。早稲田大学は、世界の何処にあっても、どのような困難に直面しようとも、自らの意思で周囲と連帯して状況を切り拓くことのできる知識と道徳的人格と勇氣、さらには頑健な身体としなやかな感性を持った地球市民を育成する。

IPSの 国際性

A black and white photograph of a man and a woman in an office setting. The man, wearing a striped polo shirt, is standing and leaning over a desk, smiling as he looks at a document. The woman, with dark hair and wearing a light-colored blouse, is seated at the desk, also smiling and looking at the document. The background is slightly blurred, showing office equipment like a monitor and keyboard.

ベトナム工科大学
マレーシア日本国際工科院

ベトナム
ハノイ工科大学
ホーチミンシティ工科大学

フィリピン
アテネオ・デ・マニラ大学

フランス
グルノーブル第一大学

IPSの プロジェクト

A person wearing a white lab coat is operating a large, complex scientific instrument, likely a scanning electron microscope (SEM). The person's hands are visible, adjusting components of the machine. The instrument has a large, dark, cylindrical main body with various labels and a smaller, lighter-colored section on the left. The background is a plain, light-colored wall. The overall scene is in a laboratory or research facility.

北九州学術研究都市内に隣接する3大学(早大、北九州市立大、九工大)は各大学の強みを結集し、連携大学院として2009年度から『カーエレクトロニクスコース』、2013年度から『インテリジェントカー・ロボティクスコース』、2017年度から『AIサブコース』を開催し、2019年度から両コースおよびAIサブコースを統合・再編して『カーロボAI連携大学院』をスタートさせました。自動車の知能化・電動化の流れを先導し、知能ロボット技術およびAI技術をカバーする技術領域において、専門領域を極めるとともに周辺技術も理解した次世代のリーダーとして実践力を有する高度専門人材の育成を目的とし、修了生の産業界での活躍が期待されます。



- 博士課程教育リーディングプログラム - 実体情報学博士プログラム
- スーパーグローバル大学創成支援
- NEDO「SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)/次世代パワーエレクトロニクス」
- 科学技術振興調整費・振興分野人材養成プログラム基盤ソフトウェア
- 「アジア人財資金構想」高度専門留学生育成事業
- 戦略的大学連携支援事業
- グローバルCOEプログラム「アンビエントSoCの教育研究の国際拠点」
- 海外連携プロジェクト
- 知的クラスター創成事業 第1期
- 地域イノベーション 戦略支援プログラム(旧知的クラスター創成事業 第II期)

就職

早稲田ならではの、確かな就職実績。 有力企業で多くの卒業生が活躍しています。

就職に強いIPS

ビジネスのあらゆる領域でグローバル化と情報化が求められている今、幅広い専門知識と創造性、確かな実践力とコミュニケーション能力を兼ね備えたIPSの修了者の活躍の場はますます広がっています。また、IPSは企業からの受託研究や共同プロジェクトをきっかけとした就職にも強みがあります。

海外教育研究機関で活躍する IPS博士学位取得者の主な就職先

大連理工大学	華東理工大学
瀋陽理工大学	中山大学
東北财经大学	上海海事大学
延辺大学	陕西師範大学
北京交通大学	大理大学
南開大学	国立成功大学
河南财经政法大学	国立政治大学
河南工業大学	延世大学校
復旦大学	東義大学校
武漢大学	釜山国立大学
南京郵電大学	マレーシア・トゥン・
南京大学	フセイン・オン大学
南京财经大学	マラッカ・マレーシア
同済大学	技術大学
浙江工商大学	シンガポール国立大学
浙江工業大学	マラン州立大学
西安交通大学	スタンフォード大学
東南大学	

修了生の主な就職先

●電機・情報・通信・半導体 NTT、グループ会社 日本マイクロソフト 日立製作所、グループ会社 三菱電機 キヤノン ソニー、グループ会社 日本IBM 楽天 パナソニック、グループ会社 東芝、グループ会社 NEC、グループ会社 富士通、グループ会社 シャープ ソフトバンク ローム アドバンテクト ルネサスエレクトロニクス 東京精密 村田製作所 富士電機 リコー セイコーエプソン コニカミノルタ 京セラ オムロン 横河電機 アクセンチュア ブラザー工業 ゼンリン フォスター電機 富士ゼロックス	Samsung Electronics LG Electronics Huawei Technologies Alibaba Group ●自動車 トヨタ自動車 日産自動車 本田技研工業 マツダ デンソー 三菱自動車工業 ダイハツ工業 ヤマハ アイシン精機 ジェイテクト ●エネルギー・プラント 機械・金属 日本製鉄 三菱重工業 神戸製鋼所 九州電力 東北電力 中国電力 ファナック 日揮 小松製作所 旭興産 出光興産 YKK AP シュルンベルジェ JXホールディングス	日立造船 ●化学・食品 住友化学 三井化学 富士フイルム 東レ 大日本印刷 アサヒビール 日清食品ホールディングス ●鉄道・航空 JR各社 全日空 西日本鉄道 ●官公庁・金融・その他 国土交通省 北九州市役所 フランス国立科学研究センター 野村総合研究所 大和総研 長崎放送 仙台放送 西日本新聞社 三井住友銀行 ゆうちょ銀行 オリックス銀行 香港上海銀行 野村証券 清水建設 セコム
---	---	---

注目を集めるIPS発のベンチャー企業

IPSの在学学生や修了生のなかにはIPSでの研究成果を基に、広く社会へサービスを提供するベンチャー起業家もいます。博士後期課程修了生の吉永さんは「ログから新しい価値を創造する」ことをテーマに、カレンダーサービスやアプリケーションサービスを開発するサービス提供会社を設立し、現在IT業界の注目を集めています。



吉永 浩和
博士後期課程修了

人材育成

多彩な“学びの機会”へと開かれた環境で、 ボーダレス時代のエクセレント・キャリアを養成。

5つの戦略的人材「エクセレント・キャリア」を養成

1. 世界レベルの先端的研究・開発を行う研究者
2. 技術の社会的経済的インパクトが分かる経営者および管理者
3. 経営戦略・戦略構想の立案ができるエンジニア
4. 先端情報技術を活かしたアントレプレナー(起業家)
5. 情報技術の知見を必要とするコンサルティング業務などに従事する者

IPSのコラボラーニング

IPSは海外の大学や研究機関との連携、企業との共同研究、地域貢献の活動など、さまざまなプロジェクトに対して開かれた「コラボ・ラーニング」と呼ばれる独自の教育環境を整備しています。こうした協働的なプロジェクトの体験を重視した実践的教育によって、これからの産業界をリードし、グローバルな舞台で活躍できるエクセレント・キャリアを育成します。



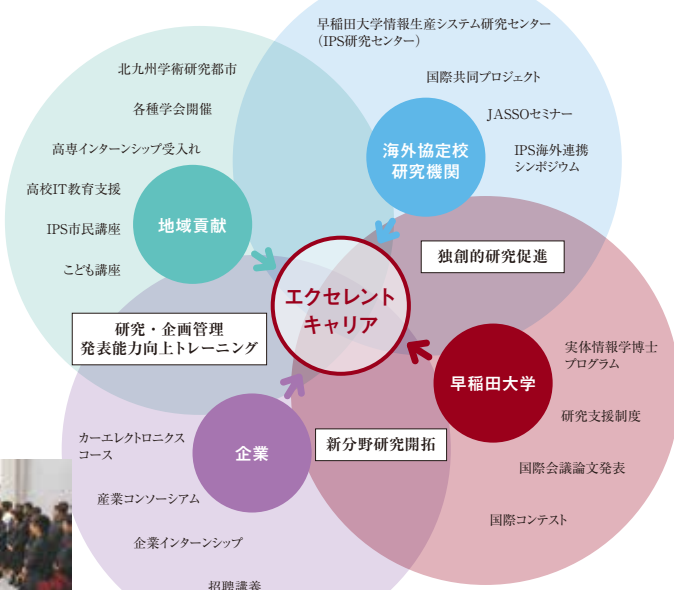
自動車会社製造工場における
エンジン組立・解体実習



地元中学校のIPS見学



IPS海外連携シンポジウム



IPSの3分野

IPSは「情報アーキテクチャ」「生産システム」「集積システム」の3つの分野から構成
また、最先端の技術と経営の知識を取り入れた講義を用意し、大局観を持ちテクノロ

I メディアから経営工学まで、新たな情報活用をデザインする。 情報アーキテクチャ分野



情報アーキテクチャ分野の特徴

情報センシングから伝送・分析・意思決定までの
情報通信技術全般をカバー

情報・AI技術の理論・応用教育と、産学連携を重視した
研究を軸とした高度技術人材を育成

さまざまなバックグラウンドをもつ学生に配慮し、
幅広いキャリア形成を支援

研究領域

- 情報・通信モデル ●計算知能 ●言語・メディア情報 ●社会／経営情報
- ロボティクス・メカトロニクス ●光ファイバシステム
- スマートインダストリー研究室 ●ニューロコンピューティング研究室
- データ工学研究室 ●イメージメディア研究室 ●バイオ情報センシング研究室
- 用例翻訳・言語処理研究室 ●バイオ・ロボティクス&ヒューマン・メカトロニクス研究室
- 光ファイバシステム研究室 ●コミュニティ・コンピューティング研究室
- ネットワークインテリジェンスとセキュリティ研究室

P 次世代のものづくり技術を通して新しい価値を創造する。 生産システム分野



生産システム分野の特徴

開発から材料、組立・製造、計測、制御、診断、物流、
経営までの生産活動に不可欠な領域をカバー

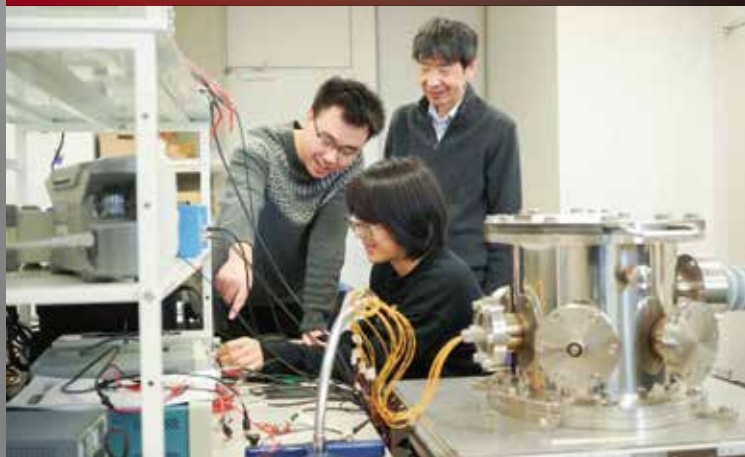
製造業のグローバル化に対応し、
アジアや世界で活躍できる研究者・高度技術者を養成

現場に即した実践的な環境で、
ソフト・ハード両面からの充実した教育・研究を実施

研究領域

- 機械設計・ロボット ●センサ・先進材料・応用計測
- システム制御・プロセス制御・エネルギー ●生体計測制御システム
- プロセス運用監視・設備安全管理
- 設計工学システム研究室 ●移動ロボティクス・プラットフォーム研究室
- マイクロナノ流体デバイス研究室 ●先端バイオエレクトロニクス研究室
- 機械システム設計研究室 ●生産プロセス工学研究室
- 薄膜機能材料研究室 ●半導体デバイス材料工学研究室 ●生体医工学研究室

S 革新的な集積システムとそのための最先端のテクノロジーの創造。 集積システム分野



集積システム分野の特徴

応用集積システムおよび関連基礎技術を幅広くカバー

産業界との密な連携を有する教授陣による
実践的な研究と教育の提供

先端企業からアカデミック領域まで幅広い
分野でグローバルに活躍する人材を育成

研究領域

- 高速/低電力半導体 ●アナログ・高周波回路
- 音響・画像処理 ●光集積・テラヘルツ集積回路
- MEMSセンサー ●システム最適化・検証
- 知的音響システム研究室 ●画像情報システム研究室 ●集積システム最適化研究室
- 高位検証技術研究室 ●グリーン集積システム研究室
- 無線通信回路技術研究室 ●マイクロ電気機械システム研究室
- 発光システム研究室 ●光電子集積システム研究室 ●テラヘルツ集積システム研究室

されており、各分野の枠を越えて相互につながり合う研究領域をハード・ソフト両面にわたって広く学ぶことができます。ジーにも明るい専門家を養成します。社会人学生も広く受け入れています。

実践を重視した教育体制

基礎的知識から最先端応用までカバーする科目群演習を通じた実践力の養成

- ・ディープラーニング
- ・データサイエンス
- ・自然言語処理
- ・メディア理解・応用
- ・通信・ネットワーク
- ・ヒューマンインタラクション

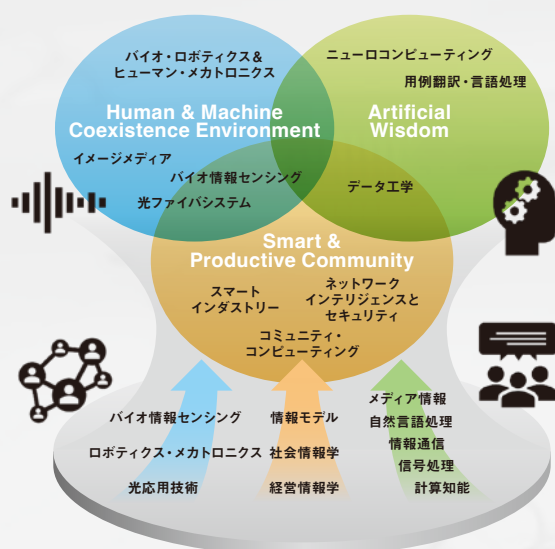
Society 5.0を切り拓く 社会に開かれた教育

技術力と共に、これからの社会で活躍するために必要な共創力、俯瞰力の養成を目指します。

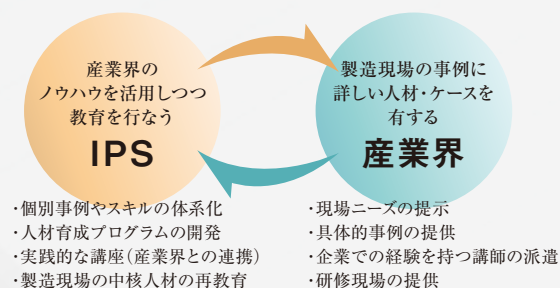


スマート社会をとりまく情報・システム化技術

人・モノ・情報から作り出される安全、安心な社会と快適な環境を創造します。情報アーキテクチャ分野では、これからのスマート社会を支えるさまざまな情報・システム化技術の研究とその応用に取り組んでいます。



地域の産業界との連携



歩行アシストロボット



教育・研究の特色

システムの教育を実施
・ハードウェアとソフトウェアの両面
・アルゴリズムやソフトウェアの基礎から応用

SoCの設計教育

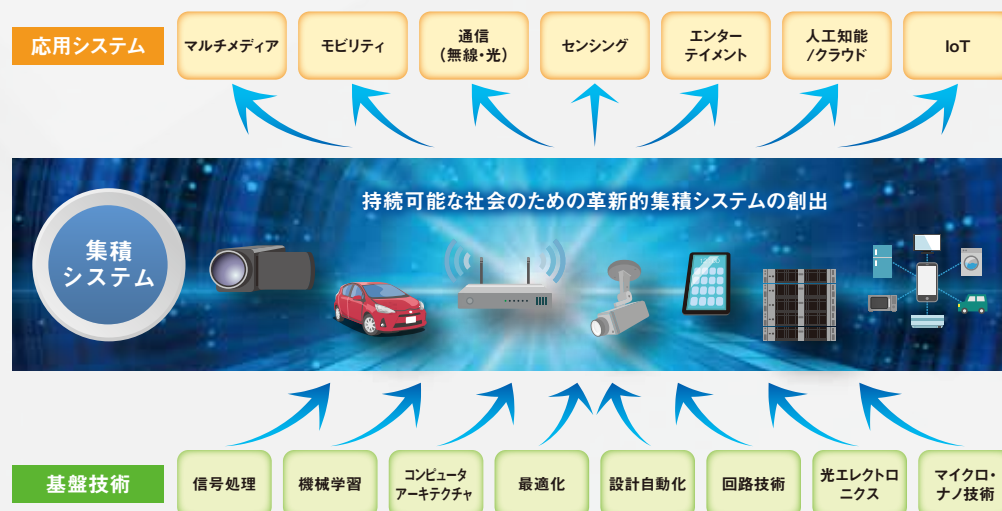
- ・FPGA実装
- ・実チップの設計/評価
- ・通信・画像・音声処理システム応用

ハイブリッド多機能集積回路の研究・教育

- ・MEMSシステム
- ・光電子融合回路
- ・テラヘルツ応用システム

外部機関や団体との連携

- ・電機、通信、半導体、自動車関連の産業界や研究機関との共同研究を広く実施
- ・国内外のトップクラス大学との研究交流



教員紹介

早稲田 IPS 教員

検索

● 情報アーキテクチャ分野



教授 藤村 茂
(ふじむら・しげる)
博士(工学)(早稲田大学)

【研究分野】

スマートインダストリ
デジタルトランスフォーメーション
生産管理・計画・スケジューリング
デジタルエコシステム

【メッセージ】

自らの発想を研究室のメンバーと議論し、互いに高めあうことができる研究室の雰囲気を提供します。新しい研究を自ら推進し研究の楽しさを実感し、世の中で役に立つ研究を実践しましょう。

Web <http://www.smartindustry.jp/>



教授 松丸 隆文
(まつまる・たかふみ)
博士(工学)(早稲田大学)

【研究分野】

ロボティクス・メカトロニクスとその応用
ヒューマン・ロボット・インタラクション(身体的・情動的)
パーソナル・ロボット、パートナー・ロボット、マイ・ロボット
人間共生ロボット、人間共生ロボット
ロボティクス・センシング&コントロール(含. 機械学習)
人の動作の計測と解析

【メッセージ】

領域や分野にとらわれない新しい考え方や高い能力をもった人々が集う場で、新しい分野を開拓しながら、一緒に成長しましょう。

Web <https://sem-matsumaru.w.waseda.jp/>
<https://matsumaru.w.waseda.jp/>



教授 古月 敬之
(ふるつき・たかゆき)
博士(情報工学)(九州工業大学)

【研究分野】

計算知能工学
深層学習と応用
SVMとカーネル関数学習
システムモデリングと同定
バイオインフォマティクス

【メッセージ】

読書が趣味、人工知能に興味がある人、一緒に勉強・研究しましょう。

Web <https://nclab.waseda.jp/nclab/>



教授 坪川 信
(つばかわ・まこと)
工学博士(北海道大学)

【研究分野】

光ファイバセンシング技術
光機能部品技術
高信頼ネットワークアーキテクチャ
光伝送システム技術

【メッセージ】

光技術には多くの可能性があります。皆さんのクールなアイデアを期待しています。是非一緒に研究しましょう。

Web <http://www.f.waseda.jp/tsukagawa.m/>



教授 岩井原 瑞穂
(いわいはら・みずほ)
博士(工学)(九州大学)

【研究分野】

データベース質問処理
Web情報システム
テキストマイニング
知識処理
ソーシャルメディア

【メッセージ】

山歩きや釣りなどが趣味で、自然と親しむことが好きです。

Web <http://www.iwaihara-lab.org/pub/>



教授 吉江 修
(よしえ・おさむ)
工学博士(早稲田大学)

【研究分野】

バーチャルコミュニティ
エージェント
多人数インタラクション
eメンテナンス
合意形成過程
知識ロジスティクス

【メッセージ】

食べ歩きとドライブが趣味。
『実行力のある人、一緒に研究しましょう!』



教授 鎌田 清一郎
(かまた・せいいちろう)
博士(工学)(九州工業大学)

【研究分野】

画像情報処理
パターン認識
バイオメトリクス
画像データベース
空間充填曲線とフラクタル

【メッセージ】

イメージをいつも大切にしています。
BGM音楽を聴くことが好きで、CDは約400枚あり。

Web <http://www.waseda.jp/sem-kamlabo011/>



教授 伍 軍
(ご・ぐん)
博士(国際情報通信学)(早稲田大学)

【研究分野】

ネットワークインテリジェンス
ネットワーク安全
インテリジェンス安全方法応用とシステム開発

【メッセージ】

ネットワークのスマート化と安全性を
さらに向上させましょう。



教授 亀岡 遵
(かめおか・じゆん)
博士(Cornell大学)

【研究分野】

バイオセンサ
IOMT
ウェアラブルセンサ

【メッセージ】

釣りが大好きです。
新しいバイオセンサ計測システムを研究しましょう。



講師 家入 祐也
(いえいり・ゆうや)
博士(工学)(早稲田大学)

【研究分野】

エージェントシミュレーション
ヒューマンコンピュータインタラクション
拡張現実
Internet of Things
観光情報学

【メッセージ】

食べ歩きと旅行が趣味。
実社会・フィールドへの興味を大切に、前向きな議論を通じて、一緒に研究成果を世界に発信していきましょう。



教授 ルパージュ・イヴ
博士(工学)(グルノーブル大学)

【研究分野】

機械翻訳
自然言語処理
用例知識取得
相違と類似・類推関係

【メッセージ】

言語処理についての新しい考え方・手法・課題を
スムーズな雰囲気で見聞交換しましょう。

Web <http://lepage-lab.ips.waseda.ac.jp/>

● 生産システム分野



教授 荒川 雅生
(あらかわ・まさお)
博士(工学)(早稲田大学)

【研究分野】
設計工学
多目的最適化
デザイン思考
故障診断

【メッセージ】
多目的最適化を中心に研究を広げております。これがどこでもドアのようなもので、様々な分野に入っていきます。毎年新しい発見があり、新しい設計方法を作ることができます。本当に楽しいですよ。



教授 立野 繁之
(たての・しげゆき)
博士(工学)(九州大学)

【研究分野】
生産プロセス工学
シミュレーション技術
信頼性工学
情報生産プロセス

【メッセージ】
趣味は機械いじり(特にパソコンの組立て)です。人のために役に立つ研究を行っていきたくと思っています。

Web <http://www.fwaseda.jp/tateno/>



教授 橋本 健二
(はしもと・けんじ)
博士(工学)(早稲田大学)

【研究分野】
自律移動システム
人型ロボット
次世代モビリティ
システムインテグレーション

【メッセージ】
社会課題を解決するための実践的なロボットシステムと一緒に開発しましょう。その開発を通して、工学的センスや設計力、問題発見解決能力を養いましょう。

Web <https://hashimoto-lab.jp/>



教授 植田 研二
(うえだ・けんじ)
博士(理学)(大阪大学)

【研究分野】
電子機能材料
薄膜結晶成長
カーボンエレクトロニクス
AIエレクトロニクス

【メッセージ】
私達は薄膜成長技術を駆使する事で、新機能材料を開発する取組みを行っています。新材料を創り出したい人やナノの世界に興味のある人は是非研究室をのぞいてみて下さい。

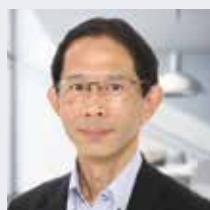
Web <http://www.fwaseda.jp/k-ueda/>



教授 馬渡 和真
(まわたり・かずま)
博士(工学)(東京大学)

【研究分野】
マイクロナノ流体デバイス
ナノ空間溶液化学
超高感度化学・バイオセンシング
レーザー分光
ソフト(制御、信号処理、AI、システム化など)
上記の社会実装

【メッセージ】
化学、バイオ、機械、電気などが関係する分野横断領域です。ので、いろんな専門分野の方と研究を進めたいと思います。



教授 志村 考功
(しむら・たかよし)
博士(工学)(名古屋大学)

【研究分野】
半導体デバイスの材料・プロセス工学
放射光を用いた先端半導体材料材料評価
IV族半導体のバンドエンジニアリング
ナノX線回折

【メッセージ】
日本の半導体産業復活に向けた機運が盛り上がっています。半導体について勉強してみませんか?半導体デバイス材料の面白さと不思議さを楽しみましょう。



教授 三宅 丈雄
(みやけ・たけお)
博士(工学)(早稲田大学)

【研究分野】
バイオエレクトロニクス
バイオ発電デバイス
ウェアラブルデバイス
体内埋め込みデバイス

【メッセージ】
サッカー、スノーボード、BBQなどのアウトドアが趣味です。ヒトに安全で柔らかなデバイスを共に作りましょう。

Web <http://www.waseda.jp/sem-miyake/index.html>



教授 高橋 淳子
(たかはし・じゅんこ)
博士(工学)(東北大学)

【研究分野】
生体医工学
生体情報解析
医療機器技術
放射線力学療法
光線力学療法

【メッセージ】
生体を理解して医学を進展させるためには、工学的な考え方が大切です。一緒に、アンメット・メディカルニーズ(いまだ満たされていない医療ニーズ)に取り組みしましょう。



教授 田中 英一郎
(たなか・えいいちろう)
博士(工学)(東京工業大学)

【研究分野】
機械設計
機構学
機械要素学
福祉工学

【メッセージ】
機械のメカニズムの素晴らしさを生かした、世の中に役立つものを創り出していきたいと思っています。機械いじりに興味がある人、一緒に研究しましょう。

Web <http://www.fwaseda.jp/tanakae/index.html>



講師 メーヘシュ・ガーボル
博士(工学)(九州大学)

【研究分野】
有機エレクトロニクス・フォトリソ
先端材料・デバイス
微生物電気化学システム
バクテリアエレクトロニクス

【メッセージ】
幸運にも私は、数ヶ国の最大かつ主要な研究所で、また製造業においても、経験を積んできました。お互いを尊重しあう雰囲気のもと、ともに研究に励み、成長していきましょう。趣味は合気道、キックボクシング、サイクリング、ハイキング、お茶を飲むことなどです。

研究に関する相談、教員とコンタクトを取りたい方はこちらへ

オフィス

✉ koho-ips@list.waseda.jp ☎ 093-692-5017

● 集積システム分野



教授 池橋 民雄
(いけはし・たみお)
博士(理学)(東京大学)

【研究分野】
MEMSセンサ
(モード局在化センサ、振動計、ジャイロ、フローセンサ)
MEMS応用システム
MEMS-回路融合デバイス

【メッセージ】
センサからアクチュエータまで、様々な分野に応用されているMEMSの研究と一緒にやりませんか？趣味はジョギングとロードバイクとドライブです。



教授 吉増 敏彦
(よします・としひこ)
博士(学術)(神戸大学)

【研究分野】
無線通信用高周波IC(RFIC)の回路設計技術
アナログ回路設計技術
高周波デバイス評価技術・モデリング

【メッセージ】
無線通信機器は私たちの生活・仕事の必需品となりました。(携帯電話、カーナビ、衛星放送など)今後も私たちの生活をさらに豊かにしていくため、無線通信用高周波ICの研究と一緒にしませんか。

Web <http://www.f.waseda.jp/yoshimasu/>



教授 池永 剛
(いけなが・たけし)
博士(情報科学)(早稲田大学)

【研究分野】
動画像圧縮システム
動画像認識システム
動画像通信システム
デジタル信号処理LSI

【メッセージ】
かつて友人が活躍していたこともあり、ずっと早稲田ラグビーを応援しています。

Web <http://www.f.waseda.jp/ikenaga/>



准教授 碓塚 孝明
(かきつか・たかあき)
博士(工学)(九州大学)

【研究分野】
半導体レーザ・発光素子
光回路シミュレーション
ナノフォトニクス
光信号処理

【メッセージ】
半導体レーザとその情報通信応用を研究しています。光技術は様々な分野で発展を続ける創造性豊かな研究領域です。「光る」技術と一緒に切り拓いていきましょう。



教授 木村 晋二
(きむら・しんじ)
工学博士(京都大学)

【研究分野】
高位設計と検証
応用指向の高位合成
ハードウェア/ソフトウェア協調設計
テスト容易化設計

【メッセージ】
趣味は読書で、特にミステリが好きです。好きな言葉は親切、丁寧、思いやりです。

Web <http://www.waseda.jp/sem-vlsi/>



准教授 高畑 清人
(たかはた・きよと)
博士(工学)(東京工業大学)

【研究分野】
光電子集積回路
半導体光デバイス
シリコンフォトニクス
マイクロ波フォトニクス

【メッセージ】
フォトニクスとエレクトロニクスを融合する光電子集積技術は超スマート社会を支える重要な技術です。一緒に、将来の社会に役立つ新しい光電子集積デバイス・システムの研究に取組みましょう。趣味はスポーツと旅行です。



教授 牧野 昭二
(まきの・しょうじ)
博士(工学)(東北大学)

【研究分野】
ブラインド音源分離
音声強調
音環境の認識と理解
音響信号処理

【メッセージ】
研究成果を世界に発信し、世界中の仲間と切磋琢磨しながら、研究の楽しさを実感しましょう。趣味は散歩、旅行、スキー、ダイビングです。



准教授 芹田 和則
(せりた・かずのり)
博士(工学)(大阪大学)

【研究分野】
テラヘルツ
非線形光学
電磁界解析
メタマテリアル

【メッセージ】
未開拓の電磁波領域にあるテラヘルツ波には、未来の通信・センシング技術の可能性が広がっています。一緒にこの分野を開拓してみませんか？



教授 丹沢 徹
(たんざわ・とおる)
博士(工学)(東京大学)

【研究分野】
エナジー・ハーベスト技術
半導体メモリシステム
アナログ回路システム
電力変換システム

【メッセージ】
物理的センスで回路動作をイメージし、数学的センスで特性を定量化し、全体最適化でシステムのグリーン化を考えることを一緒に楽しみましょう。



講師 西澤 真一
(にしざわ・しんいち)
博士(情報学)(京都大学)

【研究分野】
スタンダードセルライブラリ設計
ばらつき考慮化設計
設計自動化

【メッセージ】
半導体デバイスのスケールアップは物理的な限界に近づいています。プロセスと設計の共同最適化を組み合わせることで、物理レベルの設計でこの問題をさらに克服しようとしています。



教授 山崎 慎太郎
(やまさき・しんたろう)
博士(工学)(京都大学)

【研究分野】
最適設計
集積システム
モビリティ
機械学習

【メッセージ】
企業にて集積デバイス製造の実際を学び、大学にて最適化の研究に取り組んで来ました。集積システムの最適化は社会に様々な革新をもたらす可能性に満ちています。世界を変える研究に共に挑んでみませんか。

Web http://www.f.waseda.jp/s_yamazaki/index.html



● 分野共通
客員教授 藤野 直明
(ふじの・なおあき)

【研究分野】
産業政策 オペレーションズマネジメント
サプライチェーンマネジメント フィジカルインターネット
DX(デジタルトランスフォーメーション)

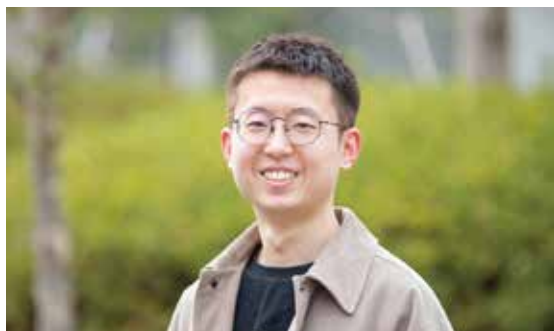
【メッセージ】
情報技術の発展と新興国の高い経済成長率とが経営戦略に大きなインパクトを与えています。多様なシステムが相互に連結するシステムオブシステムズの時代が到来し、産業構造、ビジネスモデル、イノベーションモデルの変革が求められています。起業家、経営者、コンサルタントを志向する方、広く科学技術と社会を俯瞰したい方、是非、一緒に議論しましょう。

Web <https://www.nri.com/jp/people/1st/iis/fujino>

研究に関する相談、教員とコンタクトを取りたい方はこちらへ

オフィス

✉ koho-ips@list.waseda.jp ☎ 093-692-5017



徐 哲煒 XU, Zhewei

浙江大學卒

2021年4月博士後課程入学(岩井原研究室)



China

早稲田大学のIPSには、研究を行うための素晴らしい環境が整っています。ここには高度な研究設備が備わっていて、いずれも利用しやすく、研究を進めやすい環境です。IPSには多種多様な研究プログラムや研究テーマがあり、自分が取り組むものを興味に合わせて選択することができます。私たちの研究室が重点的に取り組んでいる研究テーマは、テキスト分類、センチメント分析、ドキュメント要約、キーフレーズ抽出といった情報検索・データ工学です。定期的に行われるミーティングでは、指導教授や研究室のメンバーとの情報交換や議論を行う機会が得られます。また、学術フォーラムや国際会議への参加も奨励されており、こうした場に参加することで世界中の学者たちと意見を交換し、多角的な視点を持ち、自身の研究分野への理解をより深めることができるようになります。



木村 凛乃 KIMURA, Rino

早稲田大学基幹理工学部卒

2023年4月修士課程入学(牧野研究室)



Japan

早稲田大学大学院情報生産システム研究科(IPS)には、様々な分野の研究室があり、自分が興味を持ったテーマを研究することができます。また、国籍や年齢も様々な学生が在籍しており、多様な価値観に触れながら学生生活を送ることができます。IPSには研究だけでなく様々な分野を学ぶ環境も整っています。例えば、各研究室の教授による専門的な講義や、GEC科目などの早稲田大学の制度を積極的に利用することで、興味を持った分野についても学びを深めることができます。私の所属している研究室では、音響信号処理の研究を行っており、コンピュータでも人間と同じように雑踏の中の人の声を聞き分けられるようになることを目標に研究に励んでいます。指導教授や研究室メンバーとのディスカッションだけでなく、国際学会での研究成果発表や企業との共同研究を通して世界と繋がりを持つことができます。このようなIPSの環境を活用することで、自分の興味を追求して充実した学生生活を送ることができると思っています。

リオス チャベス フェルナンド

RIOS CHAVEZ, Fernando

モンテレイ工科大学卒

2023年4月修士課程入学(藤村研究室)



Mexico

IPSでの経験は、私の学生生活の中で最も思い出深いものになると思います。専門家のキャリアを中断して大学院に進学することを決意した時は少し不安でしたが、私の研究課題解決に繋がるIPSを見つけることができました。IPSは、産業と大学のコミュニティを活性化させるコース内容、設備環境、教授陣を取り揃えている素晴らしい大学院です。私が所属するスマート・インダストリー研究室では、さまざまな生産管理戦略のためのアーキテクチャ設計、システム開発、最適化技術などの課題に取り組んでいます。私は、確率的制約を用いたスケジューリング最適化の研究に取り組んでいます。今後も、世界中から集まる学生のコミュニティがさらに発展するようにIPSに貢献していきたいと思っています。



ガトゥス ダニエラマリー ベルトラン

GATUS, Daniella Marie Beltran

フィリピン大学ディリマン校卒

2023年9月博士後課程入学(三宅研究室)



Republic of the Philippines

早稲田大学大学院情報生産システム研究科には幅広い研究分野が揃っています。外国人研究者として調査研究の視野を広げるとともに、日本文化を楽しむ機会にも恵まれています。興味のある科目から選べる研究室には高度な研究施設や設備が整い、その中でスキルを高め、研究分野の専門知識を分かち合うことができます。先端バイオエレクトロニクス研究室では、ウェアラブルで生体に馴染む電子デバイスを製作し、ヒトとエレクトロニクスの間にある壁を壊すことに注力しています。成功へとつながる国内外の会議があなたを待っています！



謝 佳男 XIE, Jianan

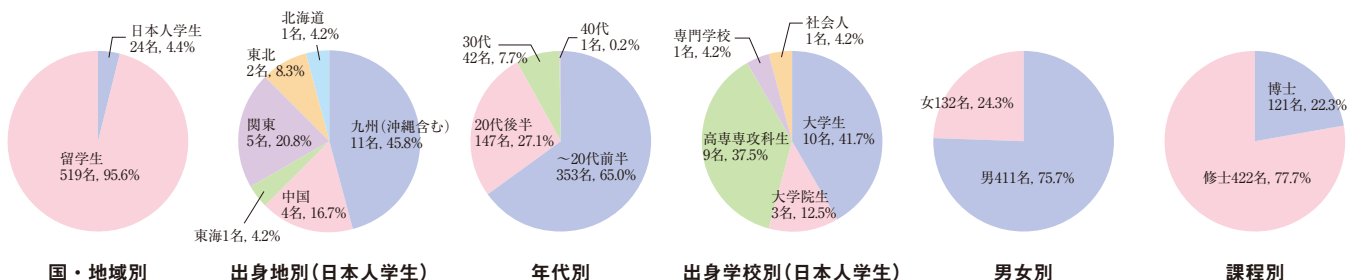
四川農業大学卒

2022年9月修士課程入学(橋本研究室)



China

早稲田大学IPSには、最先端の研究施設や優れた教授陣が集まった最高の教育環境が整っています。研究分野の選択肢も幅広く、各自の関心に合ったテーマを自由に選択することができます。移動ロボティクス・プラットフォーム研究室では、人間や生物の能力を超える移動ロボットの開発を目指しています。定例ゼミのほか、国際会議にも積極的に参加するなど、世界各国の研究者の方々との交流も盛んです。実用的なロボットシステムの開発を通じて、一緒に社会的課題の解決を目指しましょう。夢が実現する豊かな人生に向けて。



カリキュラム・設置科目 (2025年度予定)

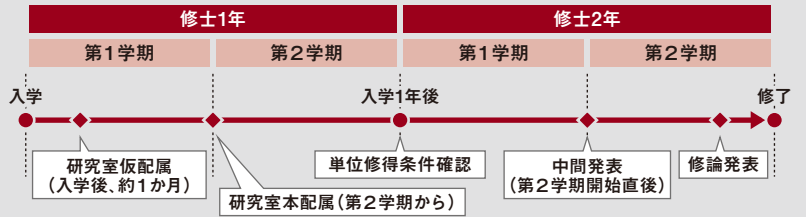
早稲田 IPS カリキュラム

検索

自身の専門のみならず、分野の枠組みを越えた知識と技術を幅広く習得することができます。同時に、理工系とは異なるバックグラウンドを持つ学生にとっても、研究活動へスムーズに移行できるよう配慮されたカリキュラムを実現しています。

修士課程入学から修了まで

修士課程の修了要件は、大学院修士課程に2年以上在学し、授業科目について所定の単位を修得し、修士論文の審査および試験に合格することです。入学後の半年間は研究室に仮配属とします。その後修了するまでの1年半の間は、研究室に本配属の上で修士論文を作成します。研究室配属は、希望する研究室の指導教員と面談の上、仮配属を経て本配属に進みます。なお仮配属後に、研究室を変更して本配属に進むことは可能です。



科目修得条件および修了要件

科目区分		入学1年後	修了要件
授業科目	基礎講義科目	18単位以上	20単位以上 (基礎講義科目は4単位まで)
	専門講義科目		
	実験科目		
	特論(必修)	4単位以上	2単位以上
	演習(必修)		8単位以上
	合計	22単位以上	30単位以上
修士論文(必修・単位なし)			合格判定

※基礎講義科目は、4単位を超えて履修しても修了必要単位数として認められません。 ※各判定時までに必要な単位数です。(判定毎に新たに必要となる単位数ではありません。)

基礎講義科目

春学期2単位	秋学期2単位
・多変量解析 ・応用統計データ処理 ・データ構造とアルゴリズム ・ネットワークセキュリティ ・アナログCMOS回路 ・機構学 ・基礎IOMT	・半導体材料・デバイスの評価技術 ・固体物理学 ・最適化技術とその応用 ・確率・統計 ・制約処理論 ・デジタル信号処理 ・テクニカルライティング&プレゼンテーション ・微生物エネルギー変換・センシングシステム

専門講義科目

情報アーキテクチャ分野	生産システム分野	集積システム分野	共通分野
春学期2単位			
●ヒューマン・ロボット・インタラクション ●集合知論(夏クォーター) ●スケジューリングアルゴリズム ・データベース ・バイオセンサー工学 ・光通信方式 ★コミュニティ・コンピューティング特別演習Ⅰ	●自動車工学 ・モデリングと制御 ・バイオエレクトロニクス ・自律移動ロボット概論 ●信頼性工学 ・計測分析デバイス工学 ・多目的意思決定と応用	・マイクロプロセッサ ・光電子集積回路 ・伝送回路 ・システムLSIアーキテクチャ ・レイアウト設計 ・MEMSデバイス工学 ・半導体メモリ工学	・レーザ工学 ★VLSI物理設計自動化特別演習Ⅱ ・テラヘルツ波工学 ・機械学習
秋学期2単位			
・生体工学 ・基礎バイオシステム ・バイオイノベーション ・情報組織化論 ・光ファイバ応用計測学 ★コミュニティ・コンピューティング特別演習Ⅱ	●スマートファクトリ(Ⅰ)(秋クォーター) ●ボタン認識 ・モノのインターネットとビッグデータ ・情報セキュリティ論	・バイオマイクロマシン ●情報管理(秋クォーター) ・ヒューリスティックサーチ設計と応用 ・マイクロナノ流体工学 ・機械要素設計 ・医療機器工学	・集積システム実装概論 ・高速・高周波LSI設計 ・システムLSI設計 ・映像信号処理 ・半導体デバイス工学 ・テスト容易化設計

●カーロバIT連携大学院コース科目 ★修了要件の単位に含まれません。 ◆1単位科目

実験科目

情報アーキテクチャ分野	生産システム分野
秋学期2単位 情報アーキテクチャ実験	秋学期2単位 生産システム実験

特論

情報アーキテクチャ分野	生産システム分野	集積システム分野
秋学期2単位		
・ロボティクス・メカトロニクス特論 ・スマートインダストリー特論 ・コミュニティ・コンピューティング特論 ・データ工学特論 ・ネットワークインテリジェンスとセキュリティ特論	・ニューロコンピューティング特論 ・マルチメディア特論 ・用例翻訳・言語処理特論 ・先端バイオエレクトロニクス特論 ・生体医学工学特論 ・移動ロボティクス・プラットフォーム特論 ・半導体デバイス材料工学特論	・機械システム設計特論 ・設計工学システム特論 ・情報生産プロセス特論 ・薄膜機能材料特論

演習

情報アーキテクチャ分野	生産システム分野	集積システム分野
A(秋学期2単位)、B(春学期4単位)、C(春学期2単位)、D(秋学期2単位)		
・スマートインダストリー演習A,B,C,D ・ニューロコンピューティング演習A,B,C,D ・データベース演習A,B,C,D ・イメージング演習A,B,C,D ・バイオ情報センシング演習A,B,C,D	・設計工学システム演習A,B,C,D ・移動ロボティクス・プラットフォーム演習A,B,C,D ・マイクロナノ流体デバイス演習A,B,C,D ・バイオエレクトロニクス演習A,B,C,D ・半導体デバイス材料工学演習A,B,C,D	・生体医学工学演習A,B,C,D ・機械システム設計演習A,B,C,D ・生産プロセス工学演習A,B,C,D ・薄膜機能材料演習A,B,C,D

※特論、演習の講義要項は、Webシラバス、科目登録画面から参照できます。Webシラバス: <https://www.wsl.waseda.jp/syllabus/JAA101.php> ※設置科目は変更になる場合があります。

詳細は入試要項で確認してください。入試要項および出願書類はIPSウェブサイトよりダウンロードできます。▶<https://www.waseda.jp/fsci/gips/applicants/admission/application/>
※入試要項は変更になる場合があります。

IPSの課程・学位

専攻・課程	入学定員	収容定員	入学時期	学 位
情報生産システム工学専攻 修士課程	200	400	4月・9月	修士(工学)
情報生産システム工学専攻 博士後期課程	20	60	4月・9月	博士(工学)

○募集分野／情報アーキテクチャ分野、生産システム分野、集積システム分野 ○募集人数／〈4月、9月入学の合計〉修士課程／200名、博士後期課程／20名

国内出願〔修士課程・博士後期課程〕

[2025年4月入学]

	出願期間(最終日消印有効)	試験日(いずれか1日)	合格者発表	第1次入学手続期間(最終日必着)	第2次入学手続期間
7月実施入試	2024年 6 月 3 日(月) ～ 6 月21日(金)	2024年 7 月12日(金) 2024年 7 月13日(土)	2024年 7 月19日(金)	2024年11月 5 日(火) ～ 11月12日(火)	2025年3月上旬
10月実施入試	2024年 9 月 2 日(月) ～ 9 月20日(金)	2024年10月11日(金) 2024年10月12日(土)	2024年10月18日(金)		
2月実施入試	2025年 1 月 6 日(月) ～ 1 月20日(月)	2025年 2 月 7 日(金) 2025年 2 月 8 日(土)	2025年 2 月14日(金)	2025年 2 月19日(水) ～ 2 月26日(水)	

[2025年9月入学]

	出願期間(最終日消印有効)	試験日(いずれか1日)	合格者発表	第1次入学手続期間(最終日必着)	第2次入学手続期間
2月実施入試	2025年 1 月 6 日(月) ～ 1 月20日(月)	2025年 2 月 7 日(金) 2025年 2 月 8 日(土)	2025年 2 月14日(金)	2025年 4 月 1 日(火) ～ 4 月 8 日(火)	2025年8月中旬
7月実施入試	2025年 6 月 2 日(月) ～ 6 月20日(金)	2025年 7 月11日(金) 2025年 7 月12日(土)	2025年 7 月18日(金)	2025年 7 月22日(火) ～ 7 月29日(火)	

国外出願〔修士課程、博士後期課程、Gコース(海外協定校推薦者のみ)〕

[2025年4月入学]

	出願期間(最終日必着)	合格者発表	第1次入学手続期間(最終日必着)	第2次入学手続期間
7月実施入試	2024年 6 月 3 日(月) ～ 6 月21日(金)	2024年 7 月19日(金)	2024年11月 5 日(火) ～ 11月19日(火)	2025年3月上旬
10月実施入試	2024年 9 月 2 日(月) ～ 9 月20日(金)	2024年10月18日(金)		
12月実施入試	2024年11月11日(月) ～ 11月25日(月)	2024年12月19日(木)	2025年 1 月 8 日(水) ～ 1 月22日(水)	

[2025年9月入学]

	出願期間(最終日必着)	合格者発表	第1次入学手続期間(最終日必着)	第2次入学手続期間
12月実施入試	2024年11月11日(月) ～ 11月25日(月)	2024年12月19日(木)	2025年 4 月 1 日(火) ～ 4 月15日(火)	2025年8月中旬
2月実施入試	2025年 1 月 6 日(月) ～ 1 月20日(月)	2025年 2 月14日(金)		
6月実施入試	2025年 4 月14日(月) ～ 5 月 1 日(木)	2025年 6 月 6 日(金)	2025年 6 月13日(金) ～ 6 月27日(金)	

入試区分ごとの個別条件と選考方法

IPSでは3つの入試区分を設け、専門知識の他、学習意欲と問題意識を重視して可否を判定します。

入試区分	個別条件		主な提出書類	選考方法※1	
	修士課程	博士後期課程		書類審査	面接試験
一般入試	—	—	・研究計画書 ・卒論または修論または業績報告書 ・成績証明書 ・英語能力証明書	実施	実施
推薦入試	・卒業論文指導教員等、本人の学力を評価できる方の推薦があること。 ・学業成績が優れていること。 ※具体的な成績基準は設けていません。	・修士論文指導教員等、本人の学力を評価できる方の推薦があること。 ・学業成績が優れていること。 ※具体的な成績基準は設けていません。	・研究計画書 ・推薦書(他薦) ・卒論または修論または業績報告書 ・成績証明書 ・英語能力証明書	実施	実施
社会人入試	・企業、官公庁、教育機関等に在職している者、または在職していた者。 ・業務上特筆すべき業績を有する者。	・企業、官公庁、教育機関等に在職している者、または在職していた者。 ・業務上特筆すべき業績を有する者。	・研究計画書 ・推薦書(自薦または他薦) ・業績報告書 ・成績証明書 ・英語能力証明書	実施	実施

※ 国外出願の方は、面接試験を行わず、原則として書類選考のみとします。

学費

(2025年度入学)

早稲田 研究科 学費

検索

修士課程

(単位:円)

年 度	納入期	入学金	学費・諸会費			合 計
			授業料	実験演習料	学生健康増進互助会費	
第1学年	入学時	300,000	581,000	25,000	1,500	907,500
	第2期	－	581,000	25,000	1,500	607,500
	計	300,000	1,162,000	50,000	3,000	1,515,000
第2学年	第1期	－	731,000	25,000	1,500	757,500
	第2期	－	731,000	25,000	1,500	757,500
	計	－	1,462,000	50,000	3,000	1,515,000

博士後期課程

(単位:円)

年 度	納入期	入学金	学費・諸会費			合 計
			授業料	実験演習料	学生健康増進互助会費	
第1学年	入学時	200,000	353,500	25,000	1,500	580,000
	第2期	－	353,500	25,000	1,500	380,000
	計	200,000	707,000	50,000	3,000	960,000
第2学年	第1期	－	453,500	25,000	1,500	480,000
	第2期	－	453,500	25,000	1,500	480,000
	計	－	907,000	50,000	3,000	960,000
第3学年	第1期	－	453,500	25,000	1,500	480,000
	第2期	－	453,500	25,000	1,500	480,000
	計	－	907,000	50,000	3,000	960,000

※他大学出身の修士課程正規入学者の方は、最終学年・最終学期に校友会費40,000円が必要となります(修了後10年分)。
本学学部出身者・編入学・一貫制博士課程・博士後期課程・ダブルディグリー・科目等履修生・非正規生は納入の対象外となります。

早稲田 IPS 奨学金

検索

奨学金制度

奨学金制度で、留学生にも安心な研究生生活を

IPSでは、入学後の学生の大学生活をサポートするため、本学独自の様々な「学内奨学金」をはじめ、国や民間団体の「学外奨学金」など充実した奨学金を整えています。特にIPSで学ぶ留学生には、財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)による「北九州学術研究都市奨学金」、福岡県国際交流センターによる「福岡県国際交流センター留学生奨学金」などIPSならではの奨学金が充実しています。以下は、2023年度IPS在籍学生の受給実績です。これらを含め詳細については、入学後にIPSスクエアに掲載される情報を参考にしてください。

2023年度 奨学金受給実績一覧

※“-”:募集対象外

奨 学 金 名 称				支 給 額		受給期間	受給者数	
				修 士	博 士		修 士	博 士
日本人 学生対象	日本学生 支援機構	日本学生支援機構大学院第一種奨学金	貸与 無	¥50,000～¥122,000/月		1～3年	13	0
		日本学生支援機構第二種奨学金	貸与 有	¥50,000～¥150,000/月		1～3年	4	0
		日本学生支援機構入学時特別増額貸与奨学金	貸与 有	¥100,000～¥500,000/一時金		入学時一時金	1	0
	学内奨学金	小野梓記念奨学金	給付	¥400,000/年	－	1年	4	－
		津田左右吉奨学金	給付	¥400,000/年	－	1年	1	－
		照下忠・栄子奨学金	給付	¥400,000/年	－	1年	1	－
		校友会給付奨学金	給付	¥400,000/年	－	1年	1	－
外国人 留学生対象	学外奨学金	三井金型振興財団奨学金	給付	¥80,000/月		正規修業年限	0	－
	学内奨学金	私費外国人留学生授業料減免奨学金	減額	50%	－	年1回	8	－
		渡日前入試予約採用奨学金	給付	¥500,000/年	－	2年	19	－
		小野梓記念外国人留学生奨学金	給付	¥400,000/年	－	1年	7	0
		早稲田大学緊急奨学金	給付	¥400,000/年		1年	1	0
	学外奨学金	国費留学生	給付	¥144,000～¥145,000/月+授業料		正規修業年限	5	1
		スーパーグローバル大学創成支援事業 国費留学生	給付	¥144,000～¥145,000/月+授業料		最長1年	0	0
		私費外国人留学生学習奨励費	給付	¥48,000/月		最長1年	68	4
		中国国家建設高水準大学留学生	給付	－	¥150,000/月+授業料	正規修業年限	－	－
		中国国家建設高水準大学公費派遣研究生受入制度 博士後期課程1年特別選考	給付	－	¥150,000/月+授業料	正規修業年限	－	2
		ロータリー米山記念奨学会	給付	¥140,000/月		1年	1	－
		福岡県国際交流センター留学生奨学金	給付	¥24,000/月		1年	4	0
		北九州市学術研究都市奨学金	給付	¥300,000/半年		1年	13	0
規定なし	学内奨学金	関原大連市留学生奨学金	給付	¥20,000/月		1年	1	0
		大隈記念奨学金	給付	¥400,000/年	－	1年	2	－
		旭興産グループ奨学金	給付	¥500,000/年	－	1年	4	－
		大川功情報通信学術奨学金	給付	－	¥100,000/年	1年	－	2
	研究奨励費等	博士後期課程研究者養成奨学金	給付	－	¥500,000/年	1年	－	45
		早稲田オープン・イノベーション・エコシステム 挑戦的研究プログラム (W-SPRING)	給付	－	生活費相当額 および研究費 上限¥2,900,000/年	正規修業年数	－	15

(¥:日本円)
(2023年12月現在)

奨学金受給モデルケース

A 日本人修士課程学生 Aさんのケース

旭興産奨学金 ￥500,000 / 年×1
日本学生支援機構第一種(貸与) ￥88,000 / 月×12

年額 ￥1,556,000

B 留学生修士課程学生 Bさんのケース

私費外国人留学生学習奨励費 ￥48,000 / 月×12
授業料減免

年額 ￥576,000
および授業料減免

C 留学生博士後期課程学生 Cさんのケース

博士後期課程 ￥500,000 / 年
研究者養成奨学金
私費外国人留学生学習奨励費 ￥48,000 / 月×12

年額 ￥1,076,000

大学院博士後期課程研究者養成奨学金制度

早稲田大学は、2009年度入学より、大学院博士後期課程において高度の研究能力と豊かな学識を有する優秀な研究者を養成することを目的とした奨学金制度を設立しています。この奨学金は、授業料を免除されている学生を除く博士後期課程の標準修業年限内の在籍学生で、本奨学金の出願資格をすべて満たし、所定の出願書類を提出した者のうち適格者全員が年額50万円(単年度給付)を受給できる制度です。

※詳細等は入学手続時に配付する「Challenge奨学金情報」または奨学課ホームページ <https://www.waseda.jp/inst/scholarship/> にて確認してください。

キャンパスライフ・北九州学術研究都市

早稲田 IPS アクセス

検索

北九州市は新しい研究生活のステージ

IPSがある北九州市は、九州の北端に位置する人口約100万人の政令指定都市です。中国や韓国に近いという地理的な条件に恵まれ、古くからアジアとの交流拠点となってきました。現在は「北九州ルネサンス構想」によって学術研究都市と地域産業の連携を図り、国際的なテクノロジー都市へと変貌を遂げつつあります。また、北九州市には海岸や山、緑地など豊かな自然を満喫できるスポットが市内各所にあり、スポーツやレジャーなどが気軽に楽しめるほか、首都圏に比べて経済的にも暮らしやすく、ゆとりある研究生活を送ることができます。

IPSの位置する北九州学術研究都市

- 4大学と10研究機関が同一キャンパスに集積
- 最先端の“知”が集うアジアの中核的な学術研究拠点
- 地域企業との連携による技術の高度化と新産業の創出



学費や奨学金、宿舎に関するお問い合わせ

オフィス

gakumu-ips@list.waseda.jp

093-692-5017



Graduate School of Information, Production and Systems, Waseda University

早稲田大学 大学院情報生産システム研究科

〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの2-7

早稲田大学大学院情報生産システム研究科事務所

アドミッションズオフィス

✉ koho-ips@list.waseda.jp

TEL.093-692-5017 FAX.093-692-5021

🌐 <https://www.waseda.jp/fsci/gips/>

